

VI
408

6-3
434

第九特別委員会について。

新制口立大学は昭和24年度から旧制の
大学、高等学校、専門学校、師範学校などを母
体として発足したのであるが、その成立過程か
らして、それらの施設が各所に分散しているもの
が甚だ多いのである。

然し大学の目的使命を達成するためには
教育、研究、管理等に必要とする基本的施設は
なるべく同一場所にあることが望ましく、更に学
部、学科、講座組織などについても夫々の部
門、種類等に応じて集中されなければなら
ないものと考えられる。

大学設置審議会においては、さきに各口
立大学の設立に際して色々と条件を附して答
申した経緯もあるので、文部省からの協議も
あり、その後の履行状況を調査しなければなら

らなり関係から各大学の総合整備を審議
する必要を生じたので、第九特別委員会を設
けることにしたのは昨年度報告した通りで
ある。

第九特別委員会は頭初日高才四郎氏を
委員長とし委員十九名で発足したがその後
日高氏が文部次官に就任せられたので、委
員長は柴沼直氏に交代した。

委員会を開くこと2回、実地調査は
1/班によつて25大学に及び、結果としては
"口立大学施設最低基準"を制定し、"整備
計画要項"を策定し、総合整備を必要と考
へられる4/1大学について、本年五月整備計
画決定案を脱稿して文部省に報告したの
である。

春山 254

才九特別委員会について

新制国立大學は昭和24年度から旧制の大學、高等學校、専門學校、師範學校などを母体として発足したのであるが、その成立過程からしてそれらの施設が各所に分散しているものが甚だ多いのである。

然し大學の目的使命を達成するためには、教育、研究、管理等に必要な基本的施設はなるべく同一場所にあることが望ましく、更に學部、學科、講座組織などについても夫々の部門、種類等に応じて集中されなければならないものと考えられる。

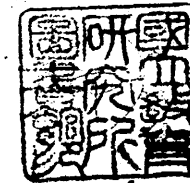
大學設置審議会においては、さきに各国立大學の設立に際して、その審査に当つた経緯もあり文部省から立案の協力を求められたので、才九特別委員会を設けることにしたのは昨年度報告したとおりである。

才九特別委員会は頭初日高才四郎氏を委員長とし委員19名で発足したが、その後日高氏が文部次官に就任せられたので委員長は柴沼直氏に交代した。

委員会を開くこと28回、実地調査は11班によつて25大學に及び、結果としては『国立大學施設最低基準』を策定し『整備計書要項』を策定し、統合整備

を必要と考えられる4ノ大學について本年5月整備計書案を脱稿して文部省の協力要望に答えたのである。

この整備計書決定案は公表せらるべき性格ではないので、才六特別委員会の結論と同様に具体的内容については本審議会の常任委員会にも、總會にも附議しなかつたことについては御了承願いたい。



この整備計画決定案は公表せらるべき
性格ではないので、また特別委員会の結論
と同様に具体的内容については本審議会
の常任委員会にも、終会にも附議しなかつ
たことについては御了承を願いたい。

9.20 筆記

抄 而新書の整理、私に於ける全保の整理、
商業の整理、
（？）

抄 整理の進捗状況、
（？）

抄 4月3日、
（？）